

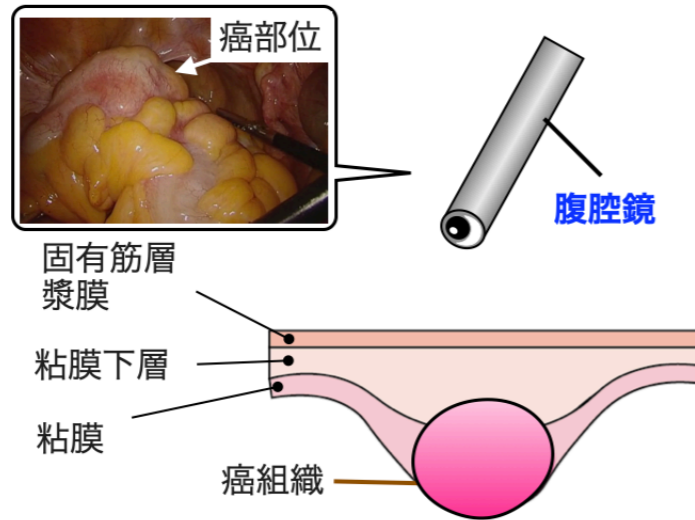
組織深部の可視化による画像手術支援を目的とした 腹腔鏡用近赤外ハイパースペクトラルイメージングデバイスの事業化

国立がん研究センター東京理科大学連携 超人医療プロジェクト 代表 高松 利寛

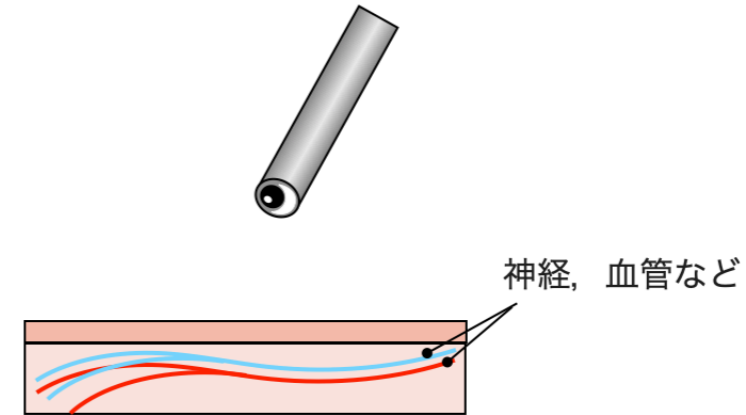
アンメットニーズ

腹腔鏡手術において、可視光の情報だけでは表層の情報しか得られないため、深部の癌や血管、神経の走行などを認識することが困難

(i) 漿膜側から消化器癌が視認困難

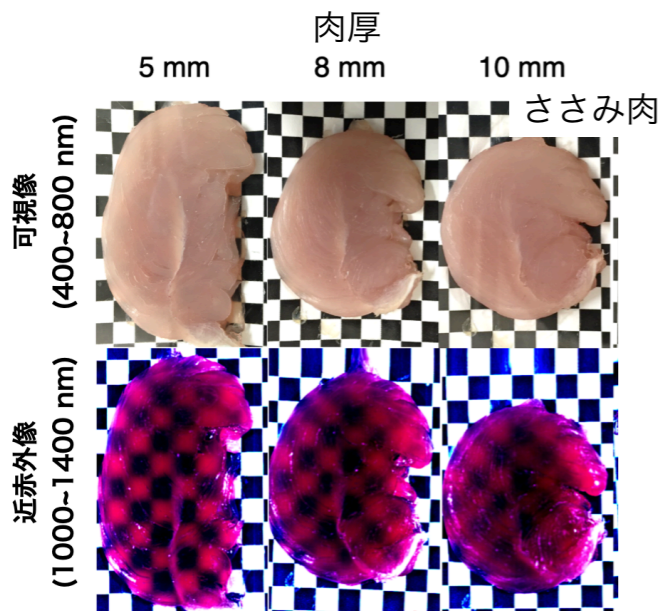


(ii) 組織深部の解剖構造は認識困難

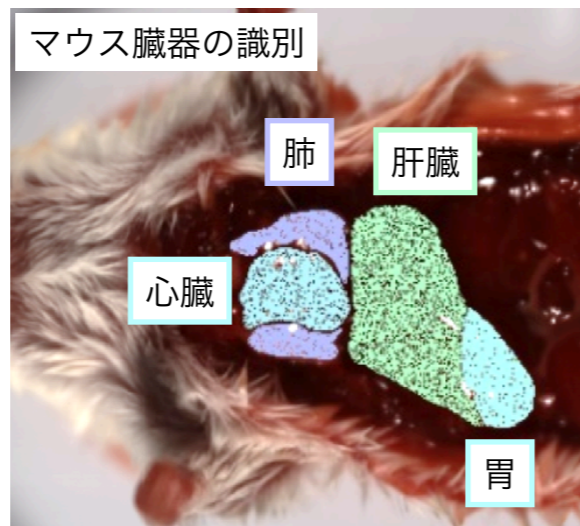


→腹腔鏡下で組織深部の癌や解剖構造を可視化できる術中支援システムが求められている

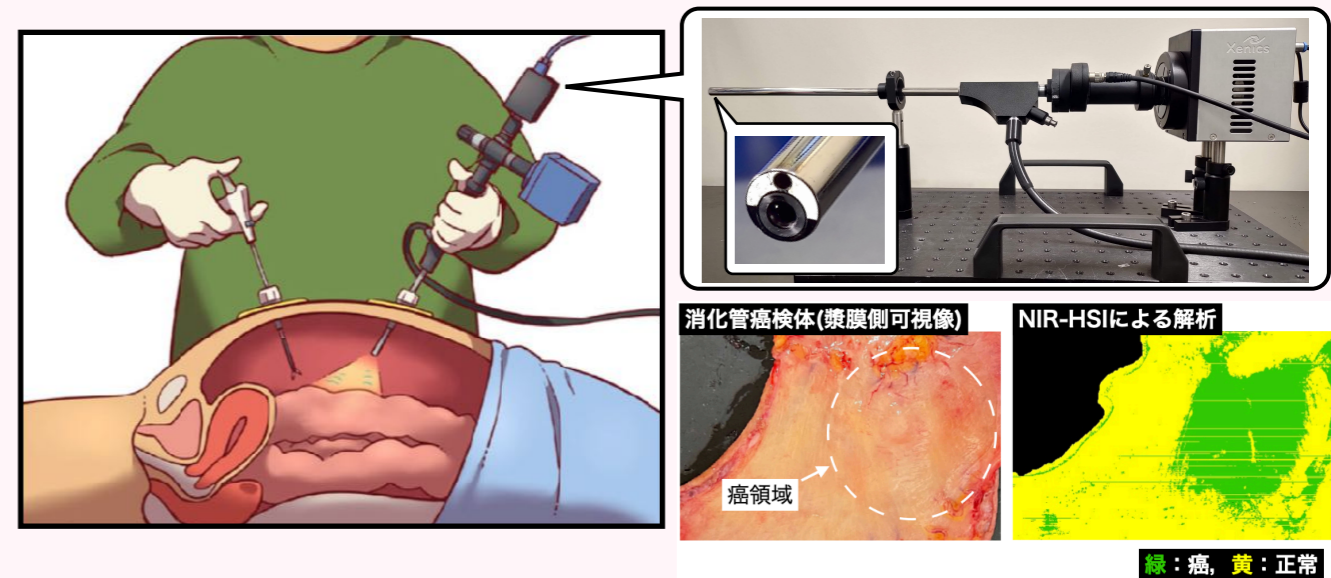
近赤外(NIR)イメージング



ハイパースペクトラルイメージング (HSI)



NIR-HSI腹腔鏡デバイスによる術中支援



近赤外ハイパースペクトラルイメージング(NIR-HSI)は
生体透過+成分分析+マッピングが期待できる

NIR-HSI腹腔鏡で可視光では認識できない
深部の癌や解剖構造を可視化する